



お知らせ

国の進学ローンをご利用ください

高校・大学などに進学する子弟のいる家庭の経済的負担を軽減するため、必要な資金を低利、長期で融資する「国の進学ローン」制度があります。

一、利用できる人
高校・大学・専門学校等に進学する人の父母（その他の親族や進学者本人でも利用できる場合があります）

二、融資金額
一進学者あたり一〇〇万円以内

三、返済期間
学する人の父母（その他の親族や進学者本人でも利用できる場合があります）

献血にご協力ください

11月10日(金)

■ 村民会館
午前10時～12時

■ 山古志村農協本所
午後1時～3時

犬、ねこの引きとり

11月13日(月)	役 場	10:30～11:00
-----------	-----	-------------

■ 手数料……1匹1,200円。子犬、子ねこは10匹まで1,200円。

■ 引取方法……親犬、親ねこは麻袋等に。子犬、子ねこは段ボール箱に入れ封をする。印鑑をご持参ください。



山古志中学三年生が遠足で奉仕活動

山古志中学三年生(三一人、男子一五人、女子一六人)が遠足に遠足、そして展望台・キャンプ場などの清掃奉仕活動を行いました。

この遠足は、「郷土の自然に親しみ、美しさに触れ、郷土を愛する心を育てる。公共の施設を大切に使う習慣を育て、奉仕の心を培う」ということを目的に計画されました。引率されたのは、柳原教頭と永井教諭。

一〇月四日天候曇り、まずまずの遠足日和です。朝九時に昼食、清掃用具を持ち、山古志中学校を出発。虫亀から風口林道を通り葎峠に向かいます。自然に親しみながら二時間、葎峠到着は二時間の予定です。

一、一時に葎峠へ行って見ると、健脚組七、八人がすでに到着、展望台で休憩していました。展望台からは秋の澄んだ空気の中、魚沼三山、守門岳、長岡側は越後平野と周囲の眺望はくっきり。あと欲しいのは、青い空だけです。一時を過ぎると、三、五人のグループが次々と到着。先着組は展望台から手を振って「オーイ、早く来いよー」と、遠くに見えるグループに呼びかけていました。

一番早いグループと一番遅いグ

る受給をお願いします。また、事業主の方も従業員を採用した場合等の届出や、各種証明の正確な記入・早期提出について、ご協力をお願いします。

なお、雇用保険に関する相談等がある場合は、長岡公共職業安定所(☎三三二一八二)にお問い合わせください。

ふなやとUNVS 推進協議会設立

ふるさと創生一億円事業については、今春村民のみなさまからアンケートで提案をいただき、これらをもとに使途・事業内容について検討を重ねてきました。しかし、みなさまの提案は、広報でも一部ご紹介したようにいずれも今の山古志村にとって必要なことばかりですが、あまりにもその内容が多岐にわたっているため決定に苦慮していました。

そこでこのたび、事業内容を来年一月までに決定すべく目的で、村内から広く二五人の委員を選任し、「山古志村ふるさとづくり推進協議会」を設立しました。一〇月三日に村民会館で開かれた第一回協議会で、委員の互選により会長に高野哲四さん(竹沢)、副会長に坂牧兵衛さん(種芋原)が選出されました。今後の協議会は

一月まで協議を続け、最も山古志村に必要な・ふさわしい内容の事業を決定する予定です。委員は次のとおりです。

◎会長 高野哲四(竹沢)

◎副会長 坂牧兵衛(種芋原)

◎委員 五十嵐秀夫(虫亀)

樺沢三治郎(種芋原) 小川六一(種芋原) 渡辺一治(竹沢)

田中忠雄(虫亀) 五十嵐英益(虫亀) 佐藤浩明(竹沢)

五十嵐ミヨ(虫亀) 松井靖博(東竹沢) 畔上義則(南平)

樺沢勝男(種芋原) 星野仲次郎(竹沢) 関正史(東竹沢)

小川隆正(東竹沢) 青木亨(南平) 川上孫一(東竹沢)

長谷川ヨキ(種芋原) 星野シゲ子(竹沢) 斉藤隆(役場)

五十嵐助一(役場) 高橋純治(役場) 青木勝(役場)

小川喜太郎(役場)

(敬称略・順不同)

11月の

納.税.保険料

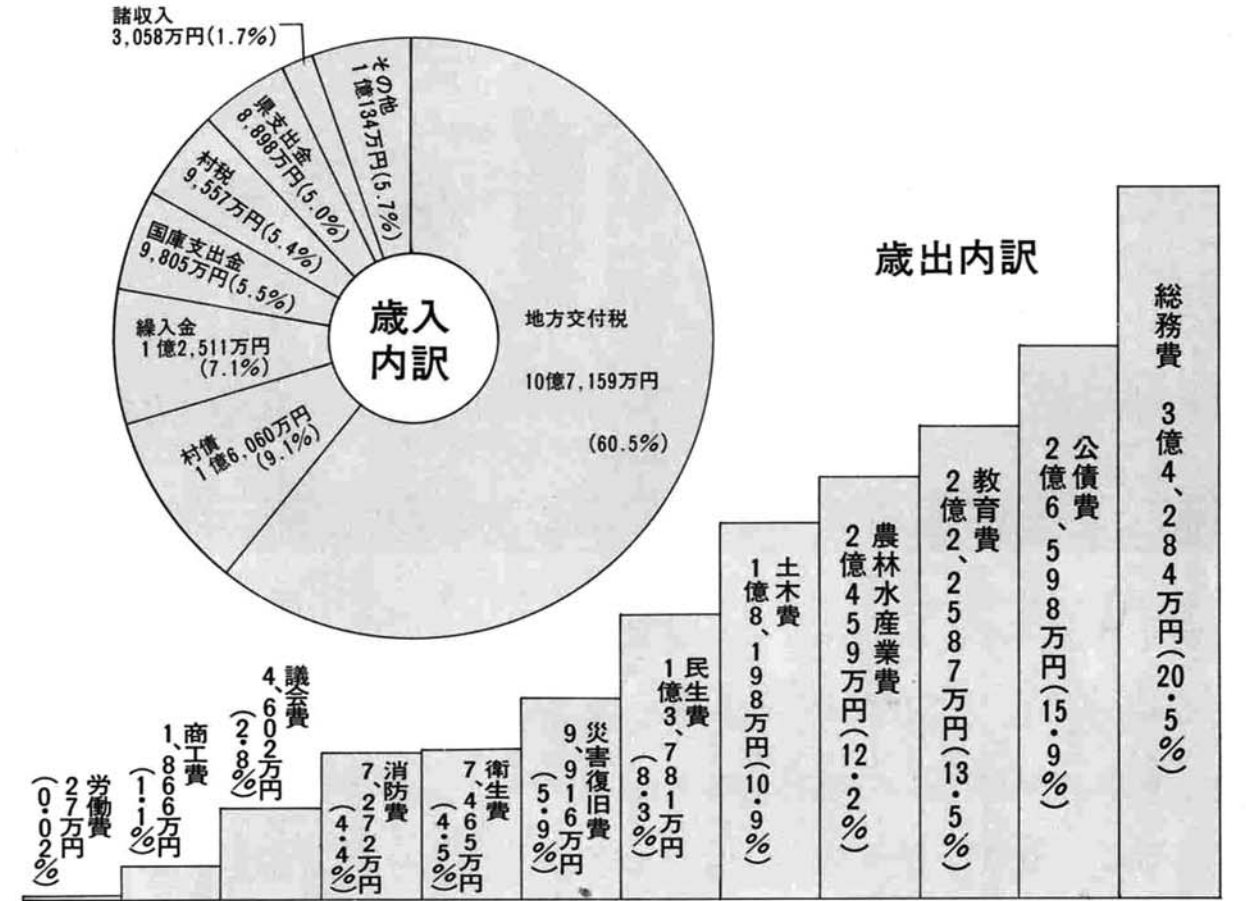
- ★国民健康保険料(11月分)
- ★国民年金保険料(11月分)
- ★保 育 料(11月分)

昭和63年度決算

昭和63年度決算が9月定例
今年も健全財政堅持 議会で承認されました。

63年度一般会計決算 (万円以下は四捨五入)

歳入	17億7,182万円	前年比106%
歳出	16億7,055万円	103%
歳入歳出差引	1億 127万円	201%



63年度特別会計決算 (万円以下四捨五入)

会 計	歳 入	歳 出	歳入歳出差引
国民健康保険会計	2億2,503万円	1億8,496万円	4,007万円
診療所会計	8,527万円	8,430万円	97万円
歯科診療所会計	2,341万円	2,337万円	4万円
老人保健会計	1億9,341万円	1億9,094万円	247万円



小川信雄さん 星野清司さん

教育委員長に 星野清司さん 教育委員に 小川信雄さん

教育委員長の五十嵐毅一さん(東竹沢)が退任され、代って小川信雄さん(東竹沢)が九月定例村議会で教育委員に任命同意されました。五十嵐さんは二期八年間教育委員・委員長として活躍いただきました。

また、これに伴い空席となった教育委員長に、星野清司さん(竹沢)が互選されました。



青木金吉さん

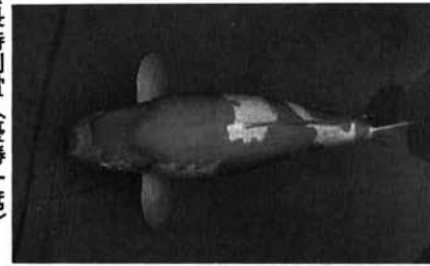
快挙! 青木金吉さんが 農林水産大臣賞

県内の優秀錦鯉が一同に会す新潟県錦鯉品評会が、一〇月二九日(日)に小千谷市の「錦鯉の里」で行われました。

この大会で青木金吉さんの一〇部紅白が見事農林水産大臣賞の栄誉に輝きました。名実ともに新潟県内で一番の錦鯉と評価されたわけですが、この大会は今年二九回となりますが、山古志村からの同賞受賞は以前一回(第二〇回・五十嵐千人さん・紅白と第二一回・斉藤広栄さん・大正三色)あるだけで、七年ぶり三回目の快挙となります。青木さんはもとより、他の村内錦鯉関係者も「山古志村の面目躍如」と喜び合っています。この大会の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

◎農林水産大臣賞
青木金吉(竹沢) 一〇部紅白

- ◎協議会長特別賞(優勝一席) 長島弘(虫亀) 七部九紋竜
- 優勝一席 星野武正(竹沢) 七部三色
- 優勝二席 関幸作(東竹沢) 八部九紋竜
- 優勝三席 五十嵐千人(虫亀) 八部三色
- 五十嵐幸作(虫亀) 四部昭和
- 五十嵐正作(虫亀) 五部光り物
- 準優勝 星野俊行(竹沢) 一部紅白三点点
- 関幸作(東竹沢) 一部白写り
- 星野武雄(竹沢) 三部くじやく
- 関幸作(東竹沢) 四部白写り
- 星野武雄(竹沢) 四部くじやく
- 田中忠雄(虫亀) 四部五色
- 星野武雄(竹沢) 五部くじやく
- 斉藤勝(虫亀) 六部紅白
- 星野要一(竹沢) 六部三色
- 佐藤元一(虫亀) 六部三色
- 佐藤清(虫亀) 七部紅白
- 田中良宗(虫亀) 七部くじやく
- 五十嵐千人(虫亀) 七部銀鱗昭和
- 星野武正(竹沢) 八部紅白
- 星野重行(竹沢) 八部白写り



私のふるさと創生論(四)

今回が四回目となる「私のふるさと創生論」。前回の中学生に続き、今回は長岡農業高校山古志分校のみなさんの意見を紹介します。

二一世紀ということで、他の市町村の皆さんの人から山古志村の自然を理解してもらえ、家族全員で一日楽しめるような所を作ってもらいたい。例をあげれば、萱峠にある展望台をもっと広くしたり、売店を出したりして、小さい子供から大人まで笑って一日を過ごせるような所がよいと思う。交通の便が悪いから、道を広くして危険のないような場所にして、きれいな山の景色を眺めて心を清めるといいのもよい。景色を描くのもよし、キャンプなどもよいかもしれない。とにかく、山古志村にない楽しい所がほしい。

山古志村には伝統文化が多くあります。闘牛をもっと多くの人に知ってもらいたいと思うので、テレビや新聞でもっとアピールしてほしい。このほかにも、自然がたくさんあり山菜も豊富で、錦鯉もまつりもある山古志村は、平和で豊かな所なので、このことを強くアピールしてほしい。

東竹沢 小川隆行 高校生

アメリカ合衆国の農村と交流を深め、姉妹村となる。そして、農業の仕方や生活の仕方など色々な情報交換をして、新しい農産物や特産物を作り出してほしいと思う。

また、交換留学などで山古志村をよく知ってもらい、それを宣伝にし、山古志村へ観光客を多く呼べるような施設を作り、たくさんの人に来てもらう。

種芋原 金内直子 高校生
休日などに家族で楽しむ、村外の人にも利用できる公園やキャンプ場をつくる。そこには小さな遊園地も併設する。
山古志全体で、年に一回でも二回でもいいから盛大なお祭りを企画する。その時には、「ミス山古志」などを選ぶ。
萱峠の道を拡張し、ドライブコースにする。そして、展望台を建てかえ、食事ができるようにする。広い土地に山菜公園をつくらせて、都会の人から山菜をとりをもらおう。そして、山古志流の山菜の食べ方を紹介する。

山古志村錦鯉品評会

総合優勝 星野秀雄さん 総合次席 星野武雄さん

第二八回目となる山古志村総合錦鯉品評会が、一〇月二六日に行われました。会場は例年どおり、錦鯉総合センター。当日は汗ばむほどの天気恵まれ、出品された三四七尾の錦鯉が青空の下で美を競い合いました。

審査員二二人が全員審査の結果、総合優勝は星野秀雄さん(竹沢)の三色、次席には星野武雄さん(竹沢)の紅白が選ばれました。いずれとも自家産の鯉で、当歳から何年も丹精を込めて育てられてきたものです。各部の審査は二二人の審査員が四班に分かれて、それぞれの部を担当しました。そして、表彰式終了後に、一部から四部までの入賞鯉による競売会も開かれました。

- 一部最優秀賞 紅白 畔上完二(南平)
- 二部最優秀賞 大正三色 五十嵐弘(竹沢)
- 三部最優秀賞 昭和三色 藤井春夫(東竹沢)
- 四部最優秀賞 紅白 星野三男(竹沢)
- ジャンボの部最優秀賞 紅白 星野武雄(竹沢)
- 最多出品賞 星野武正 松田松夫 星野重行
- 各部品種別優勝 (紅白)
 - 一部五十嵐弘(竹沢) 二部畔上完二(南平) 三部松田松夫(虫亀)
 - 四部石原貞作(虫亀) 五部石原武(虫亀) 六部佐藤清(虫亀) 七部田中重雄(虫亀)
 - (大正三色)
 - 一部星野清吉(竹沢) 二部高野哲四(竹沢) 四部五十嵐千人(虫亀) 五部五十嵐藤一(東竹沢) 六部五十嵐千人(虫亀) 七部五十嵐千人(虫亀)
 - (昭和・写り物)
 - 一部五十嵐高繁(東竹沢) 二部星野要一(竹沢) 三部関幸作(東竹沢) 四部田中忠雄(虫亀) 五部五十嵐幸作(虫亀) 六部星野重行(竹沢) 七部田中重雄(虫亀)
 - (光り物)
 - 一部五十嵐務(東竹沢) 二部齊

品評会の成績は次のとおりです。(敬称略)



総合優勝 大正三色 星野秀雄(竹沢)



総合優勝次席 紅白 星野武雄(竹沢)



部優勝のみなさん。右から藤井春夫、五十嵐弘、畔上完二さん

- 藤広栄(虫亀) 三部田中良宗(虫亀) 四部高野新之丞(竹沢) 五部五十嵐徳治(虫亀) 六部星野久市(竹沢)
- (変り物)
 - 一部関勇(東竹沢) 二部坂牧武(種芋原) 三部関勇(東竹沢) 四部田中良宗(虫亀) 五部星野清五郎(竹沢) 六部星野武正(竹沢) 七部関勇(東竹沢)
- (金・銀鱗)
 - 一部長島弘(虫亀) 二部松田松夫(虫亀) 三部齊藤広栄(虫亀) 四部五十嵐貞雄(虫亀) 五部五十嵐幸作(虫亀) 六部佐藤浩明(竹沢) 七部星野武雄(竹沢)
- (五色・アイ衣)
 - 一部青木寅一(種芋原) 二部松田松夫(虫亀) 三部関喜美雄(東竹沢) 四部樺沢和利(種芋原) 五部坂牧菊松(種芋原) 六部星野重行(竹沢)



総合優勝と次席の三色・紅白

泣く子とお天道様には 勝たんねえ

徹底的に雨に泣かされた、今年の秋。春から夏にかけては天候がよく、米も野菜も作物はみんなできがよい。と農家の人たちは喜んでいたのでありますが……。

ところが、収穫の秋九月になると、降る降る毎日雨、雨雨。九月中に晴れた日は、ほんの数え 橋竹治さん(種芋原)

るほどでした。そして一〇月。九月はよく降ったから一〇月は天気が続き、とみんなが思い願っていたのですが、晴れたのは一〇月上旬少しだけ。その後はまた雨雨。雨。そのため、田がぬかるんでコンバインがうまく使えなかつたり、やむなく雨の中の稲刈りが行われました。はさにつけた稲はなかなかあげられず、九月に刈られた稲は一ヵ月もはさにかかっ

ていたものがあつたようです。はさにつけられた稲は、三日位晴天が続いたらあげるのが理想なのですが、今年はそのことはいってられません。一日半も雨が降らなければ、村中で「ソレツ、稲あげだ」と、天手古舞。今年の秋は農家にとって、気のもめた、イライラし通しの秋でした。そして農作業が一段落した一〇月下旬になると毎日噴、噴、噴。皮肉なものです。

「泣く子とお天道様には勝たんねえ」とはよくいったものです。



▲ 晴れ間をみつけて、あわただしい稲あげをする 青木幸七さんの奥さん(池谷)

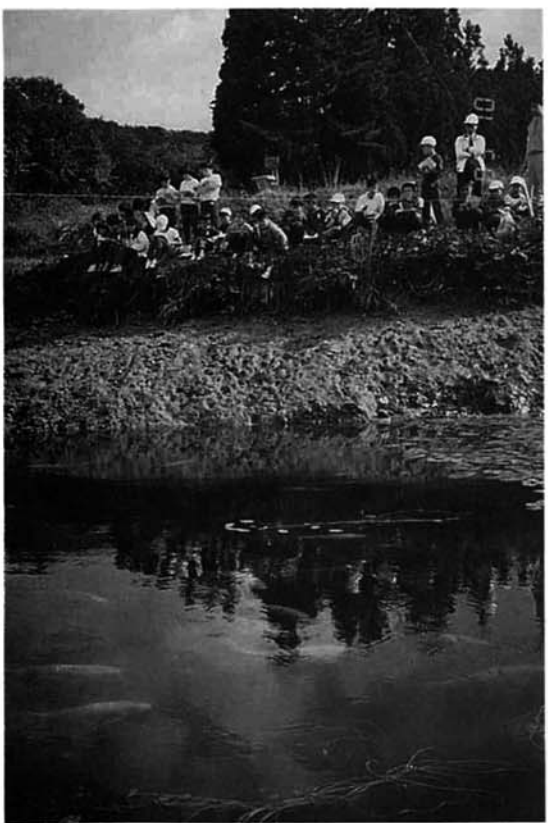
ワ、でっころ

子供たちが 池あげ見学

種芋原地区は、村内の他地区に比べて、錦鯉飼育者が少ない地区です。そのため子供たちは、錦鯉を知っていても池あげの様子を見たことのない子供が多いということです。そこで、子供たちに池あげの様子を見せてやろうと、種芋原小学校で池あげ見学が計画されました。

見学する池は、種芋原で一番大きい「名山の池」。面積は一ha近くあります。この池は古くから錦鯉飼育に使われていて、鯉が大きくなり仕上りも良いと評判の池で、種芋原の優秀鯉はたいていこの池で飼われてきました。現在の飼育管理者は、樺沢和利さん。

池あげの行われたのは一〇月四日。樺沢さんは子供たちの来る



種芋原地区は、村内の他地区に比べて、錦鯉飼育者が少ない地区です。

山古志に

通い続けて
一二年



三浦修蔵さん

山古志村で北海道の三浦さん
と言え、錦鯉にたずさわって
人ならたいてい知っておられる
ことでしょう。この三浦さんをご
紹介します。

北海道茅部郡砂原町で旅館「内
浦荘」と「内浦荘錦鯉センター」
を経営している、三浦修蔵さん。
この地に不動産業も手がけていま
す。錦鯉が縁で山古志村に来てか
らずで二二年、毎年二・三回づ
つは当村に通い続けてきました。
カーフェリー乗船時間四時間を含
め、片道約二〇時間、高速交通時
代とはいえ、北海道はやはり遠く
感じられます。

山古志村での本拠地は、種芋原
の寺野。ここに住宅一戸と養鯉池
六〇アールを所有し、販売池も備
えています。三浦さんは毎年錦鯉
シーズンの一〇月一ヵ月間ここに

滞在します。息子さんもいっしょ
です。そして、ここに滞在中は、
鯉の地揚げ、選別、購入、販売と、
村の鯉師同様に活動します。品評
会にも出品し、毎年好成绩を納め
ています。

一二年前最初に山古志村に来て
その後年数回づつ二・三年山古志
通いをした結果一番感じたのは、
錦鯉の春と秋の価格差だったそう
です。そこで、「北海道で越冬で
きれば企業的经营が成り立つので
は……」と考え、いっそう錦鯉へ
の関心が高まったということだ。
これは、三浦さんの経営する旅館
には温泉が出ていて、この湯を使
えばと考えたからです。そのうえ
この温泉は、日本でも一・二カ所
しかないと言われる泉質で、緋が
上り白地がきれいになるといふ山
梨県石和温泉と同じもので錦鯉
飼育には最適だということだ。

好きな品種は紅白で、最近山古
志村で当歳の生産も始めました。
紅白、三色、白写り等を主に優秀
当歳魚の生産を目ざしています。
この三浦さんの鯉を飼育管理して
いるのは竹沢の星野由太郎さん。
三浦さんのいない春から秋にかけ
毎日種芋原に通い続けています。
「鯉の売買を重ねるうち、お互い
に信頼関係ができた。星野さんが
いなければ、山古志村で鯉を飼お
うとは思わなかった」と三浦さん。

「今のところはまだ道楽」と話し
ながらも山古志村での一二年間の
総経費（仕入れも含む）は、一億
数千円とのこと。三浦さんは笑
いながら、「錦鯉を通じて全国の
人と知り合い、つきあいができた
のが良かった。しかし、長い間、
頭を使い体を使いやってきた。他
の商売ならとくに別の答が出て
いたかもわからない。だから、高
い授業料だったのかも知れない」
との話。

温厚な良家育ち風の三浦さんで
すが「何でもはつきり言う方だ」
そうです。網元の一人兄弟の末
っ子に生まれ、子供のころは何不
自由なく育てられたということだ
ですが、一七歳で自立を目ざして家
を出てからは、波瀾万丈の人生だ
ったということだ。そして、今
はまた末っ子の三浦さんが家を継
いでいます。「だから、人生は不
思議だ」と話す三浦さんから、山
古志村の錦鯉関係者へ一言お話を
していただきました。

まず、「錦鯉は儲かるも儲から
ないもやり方次第。目先の欲にと
られすぎる。今高く売れると思
えば、将来を考えると高く売れる傾向
がある。自分の商売を長い目で見
れば、もう少し客扱いの方法を改
善すべきで、その他のことも含め
内部から経営方法を見つめ直すべ
きでは」と。また、「全部の業者が



狸寝入り

起きてみると都合が悪いときに、
寝たふりをするを「狸寝入り」
といいます。「狸寝」「狸眠り」
も、同じ意味の言葉です。

狸は穴熊に似たイヌ科の動物で、
知能程度は犬や狐よりはるかに低
く、警戒心は強くありません。
憶病な性質で、銃声を聞いて驚
いたりすると気を失い、一時的な
仮死状態に陥ることがあります。
それが人間の目には寝たふりに見
えるので、「狸寝入り」という言
葉が生まれたようです。

貉は狸をさす方言の一つですが、
穴熊を貉と呼ぶ地方もあるので、
この三者はしばしば混同されま
す。肉を味噌仕立てにして食べる
「狸汁」は、俳句では冬の季語。
ただし狸の肉は固くてくさいも
で、たいてい穴熊の肉が使われ
てきました。

狸は昔話や伝説では人を化かす
動物とされますが、ずる賢い狐と
違って、どこか間が抜けています。
「狸寝入り」という言葉に、悪い
行為を決めつけるほどのニュア
ンがでないのも、たぶんそのせい
でしょう。

児童・生徒の
歯は健康

今年の五月から九月にかけて行
われた「第三回新潟県よい歯の
学校・園運動」で、種芋原中学校
が優秀校として表彰されました。

この運動は、新潟県学校保健会・
新潟県歯科医師会・新潟日報社の
主催で行われているもので、「歯
の疾患の予防・処置状況・歯科保
健に関する教育管理の実施状況」
などを審査の基準にしています。

種芋原中学校では、家庭と学校
（昼食後）での歯みがきの徹底等
を行い、有病率二五%、処置率九
四%とたいへん優秀な成績でした。
ちなみに、種芋原中学校で虫歯の
一本もない生徒は四人おり、一〇
月二四日に長岡市歯科医師会館で
行われた表彰式にこの中から三年
生の坂牧淳也君が学校代表で出席
し、「歯について考えること」と
題した体験発表を行いました。

なお、同運動で山古志中学校も
努力校として、村内小・中学校七
校で組織する古志郡学校保健会も
優良学校保健会として表彰されま
した。「歯は健康の基本」とよく
いわれますが、学校や子供たちだ
けでなく家庭でも「よい歯の家庭」
運動をいかがですか。

税の便

10

初霜のころ

11月も中旬を過ぎると、各地から初霜の便
りが届き始めますが、初霜のニュースを聞い
たら思い出していただきたいのが、「年末調
整」です。サラリーマンの所得税は、毎月の
給与やボーナスから源泉徴収されますが、そ
の年の給与総額に対する正規の年税額と月々の給与
から源泉徴収された所得税額の合計は、次のよう
な理由から一致しないのが通常です。

- ▶ 所得税の過不足を「精算」
 - 結婚、出産などのため、年の途中で扶養親族の数が変わることがあること。
 - 毎月の源泉徴収の際に、生命保険料の控除や配偶者特別控除などが考慮されていないこと。
 - 年の途中で給与の額に異動があること。
- そこで、納めた所得税に過不足のないように、年末に「精算」が行われます。これが年末調整です。



- ▶ 年末調整にはどんな書類が必要か
年末調整を受ける際に注意していただきたいのは次の点です。
- 扶養親族の数に増減があった場合は、その都度「給与所得者の扶養控除等（異動）申告書」を勤務先に提出することになっています。
- 配偶者特別控除（最高35万円）を受けるための「給与所得者の配偶者特別控除申告書」を勤務先に提出します。
- 生命保険料、損害保険料などの控除を受けるための「保険料控除申告書」を勤務先に提出します。
- 住宅取得等特別控除の2年目以降の分を年末調整で受ける（初年は確定申告をする）とき「年末調整のための住宅取得等特別控除証明書」と「給与所得者の住宅取得等特別控除申告書」、それに「住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書」を勤務先に提出します。

四季の山古志

写真コンテスト

五十嵐敏彦さんが
村長賞



五十嵐敏彦さん

昨年に続き二回目となった「四季の山古志写真コンテスト」の入賞者が決まりました。応募は全国から一六〇点。審査をされた羽賀康夫さんの話によると、「応募点数は昨年に比べやや少なかったが、反面内容の充実した見応えのある作品が多かった」とのこと。

入賞者は「村長賞五十嵐敏彦さん・長岡市」、「毎日グランプリ

賞片桐恒平さん」、「知事賞三本弘介さん」、「県観光協会賞三浦周司さん」でした。

郵便局から
年賀はがき発売

お年玉つき年賀はがきが、一月二日（木）から発売されます。各地区の郵便局・簡易郵便局・切手類販売所、お早めにお買い求めください。価格は四六円（写真・絵入り）と四二円（無地）です。

